

338-To46ウ



1200800311805

國
際
金
融
市
場



始



凡例

寄贈本

一此編ハ本年四月六日倫敦銀行集會所ニ於テコール子ルス、ロ
ンズエンド氏ガ朗讀セル所ノ稿本ニシテ本年五月刊行
フジヨーナル、オヴ、ゼ、インステイテュート、オヴ、バンカースニ
ゲタルモノヲ譯述セルモノナリ

一此編ノ冒頭ニ記スル如ク氏ハ昨年既ニ同一ナル論題ノ下ニ
朗讀ヲ爲シタルコトアリ、今回ノ朗讀ハ第二回ニシテ其論ス
ル所ヲ見ルニ太平洋ニ於ケル近時商業ノ發展ヨリ日露戰爭
及其國際金融市場ニ及ボス影響ニ論及シテ其近況ヲ説キ其
間露國公債ノ甚シク下落セザル理由及巴拿馬運河報償金受
渡ノ影響其他ノ問題ニ就キテ觀察スル所アリ更ニ進ンデ國
際商業ノ大勢ヲ叙シ終ニ英國今日ノ商業上ノ位地ヲ將來ニ

明治
43.4.6
寄贈

持續スルノ方策ヲ説キテ本論ヲ結ベリ

一氏ガ昨年朗讀セル論文ハ曩ニ之ヲ譯シテ昨年八月、九月及十一月ノ銀行通信錄(第三十六卷自一七九頁至一八三頁、自三五六頁至三六〇頁、自六五八頁至六六六頁)ニ分載セリ請フ此編ト共ニ一讀セラレンコトヲ

明治三十七年九月

東京銀行集會所

國際金融市場

英國 ゴールズ、ローズ・エンレード 詳述

予ハ千八百九十五年及千八百九十七年當集會所ニ於テ「伊太利ノ財政」ナル問題ノ下ニ朗讀ヲ試ミ又千八百九十八年ニハ「萬國商業的爭鬭」ナル朗讀演說ヲ爲シ其後千九百二年及翌三年ニハ「國際金融市場」ナル問題ニ就キ諸君ノ前ニ朗讀スルノ光榮ヲ得シガ本日ハ亦同一問題ニ就キ諸君ノ傾聽ヲ乞ハント欲ス

經濟及金融問題ハ日ニ進捗シ本問題ハ今日ニ於テモ猶重要ノ問題タルコトヲ失ハザルノミナラズ倫敦金融市場ト密接ノ關係ヲ有スル各國ノ資產及負債ヲ知リ以テ世界ニ於ケル銀行家トシテノ英國人ノ地位ヲ保持シ且ツ世界ノ商業場裡ニ於ケル英國人ノ獲得ヲ増進セント欲セバ須ラク各國ノ商業及金融事情ヲ考查シテ其行所ヲ研究スル所ナカルベカラズ

商業ハ絶エズ新方面ニ展開セリ、今ヤ國際商業ノ中樞ハ地中海及太西洋ニ於テノミ之ヲ占有スルコト能ハズシテ其潮流漸次太平洋ニ向ハントシ此方面ニ於テ二箇ノ

商業國民ハ各確乎タル目的ヲ以テ共ニ絶東ニ於ケル優勢ヲ爭ハントセリ
日露兩國間ニ蟠レル紛擾ノ口實ハ姑ク之ヲ論ゼズ其戰端ヲ開クニ至リシ眞ノ原因
ハ兩國ガ英國ノ大ニ利益關係ヲ有スル地域ニ於テ政治上及商業上ノ優勢ヲ占メン
トセル希望ヨリ生シタルモノナルコト疑フ容レズ、而シテ其地域タル西比利亞鐵道
貫通シテ絶東ト歐洲トヲ接觸セシ以來活動的企業的國民ノ愈々其驥足ヲ伸スベキ
有望ノ舞臺タリ

日本及露西亞ハ互ニ優勢ヲ占メントシテ各特殊ノ「プログラム」ニ依レリ

日本ハ泰西ノ行政及軍制ヲ採用シテ其國ヲ改革シ而シテ後其伎倆ト經驗トヲ振ヒ
其改革ニ貢献セル外國人ヲ退ケタリ、其後日本ハ其敵手タル清國ニ對シテ其活氣ト
優勢トヲ示シ又一方ニ於テハ其財政及幣制ヲ鞏固ナル基礎ノ上ニ置キ露、佛、獨三國
ノ聯合干渉ニ依リ一旦老大帝國ヨリ得タル戰勝ノ利益ヲ放棄スルノ已ムヲ得ザル
コト、ナリテ千八百九十五年六月十七日下關平和條約ニ調印セルモ而モ絶東ニ於
ケル支配者タルノ地位ヲ得ントスル最初ノ目的ニ至テハ更ニ之ヲ放擲スル所ナカ
リキ、而シテ日本ハ一方ニ於テ其國內及國際商業ヲ發達セシメテ其繁昌ヲ謀ラント

シ其精力ヲ集注セル間他ノ一方ニ於テハ其敵手ト争ハシガ爲メ其準備ヲ懈ラズ千
九百二年一月三十日英國ト同盟條約ヲ結ビシ以後ハ徐ニ敵對開始ニ關スル好機ノ
到來ヲ待テリ

時機ハ存外迅速ニ來レリ、是レ露國ガ其同盟國タル佛蘭西ヨリ財政上ノ援護ヲ得テ
其財政狀態ヲ改良進歩セシメ從來發行セル不換紙幣ヲ銷却セルヨリ更ニ進ミテ絕
東ニ於ケル支配權ヲ掌握セント企テシニ依レリ、露國ハ港口ヲ開クガ爲メニ生ズベ
キ事情ノ一變ヨリ自國ノ商業及產業ニ多大ノ利益ヲ加フベキヲ知リ且ツ下關ノ平
和條約ハ必ズ老大帝國ノ商業ヲシテ漸次發達セシムベキヲ曉リ其猛烈政策ヲ施シ
其威望ヲ輝カスベキノ機熟セリト爲セリ、茲ニ於テカ清國ヲシテ日本ニ強取セラレ
シ償金ヲ一時ニ支拂ハシメントシ曩ニ佛國ニ募集セル四億法ノ四分利附清國公債
ヲ保證シ清國ヲシテ日本ガ償金支拂擔保トシテ占領セル地方ノ還付ヲ請求スルコ
トヲ得セシメタリ

此財政上ノ帮助ハ露清兩國間ノ交情ヲ親密ナラシメ其他ノ歐洲列國ハ清國ニ強請
シテ殆ンド何等ノ得ル所ナカリシニ拘ラズ露國ハ簡單ナル協商手段ニ依リテ而モ

多大ノ獲得アリタリ、銅ニ富ミ石炭ニ富ミ其他ノ礦物ニ饒ナル西比利亞ニ取りテハ太平洋ニ出口ヲ求ムルノ最モ肝要ナルコトヲ認メタル露國ハ清國ヲシテ黒龍江ノ港ヲ開放セシメタリ、蓋シ黒龍江ノ開港ハ西比利亞鐵道ニ取リテ最モ必要ナレバナリ、渠ハ又清國ニ與ヘタル援助ノ交換トシテ清國ノ領土ナル滿洲ヲ通過スル鐵道ノ敷設權ヲ得千八百九十年三月十七日全線七千百十二露里即チ四千七百十五英里ノ鐵道敷設ニ着手セリ、此鐵道ニ依リテ露國ハ雷ニ露國ト太平洋トノ距離ヲ著シク短縮セルノミナラズ又之ニ依リテ滿洲ニ於ケル政治上及經濟上ノ主公トナリ且ツ夙ニ重要ナル活動ヲ此地方ニ試ミントセル國ト密接ナル隣邦トナレリ

清國政府ガ露國ニ向テ鐵道敷設ヲ認許シ又千八百九十六年十月西比利亞鐵道保護ノ爲メ軍隊ノ滿洲駐屯ヲ認許セシコトハ痛ク日本ヲ刺戟セリ、蓋シ日本ハ露國ガ數年ヲ出デズシテ滿洲ヲ其掌中ニ握リ漸次韓國及北清ノ大部分ヲ併呑シテ文明世界ノ政治上及商業上ノ利益ヲ毀損スペキコトヲ察シタレバナリ、是ニ於テカ旭日帝國ハ戰爭ノ準備ヲ爲シ露國ガ千九百三年十月八日ニ撤兵スペキ約束ヲ履行セザルヲ口實トシテ戰ヲ開クニ至レリ

日本ハ其國家ノ存立ヲ危クスル所ノ敵ト戰フ前ニ方リ其戰爭ノ實ニ死生存亡ノ分ル、所ナルコトヲ知レルヲ以テ露國ニ向テ屢々滿洲撤兵ノ約束履行ヲ勸メシガ露國ノ遂ニ其請求ニ向テ滿足ヲ與ヘザルコトヲ確カムルヤ茲ニ旭日帝國ハ本年二月六日聖彼得堡駐劄公使ヲ召還シ翌日戰爭行爲ヲ開始セリ、而シテ萬國金融市場ハ此戰爭ノ爲メニ後段ニ叙述セルカ如キ大影響ヲ被ムリシノミナラズ將來猶一層大ナル影響ヲ被ムラントセリ、何トナレハ兩國ニシテ今日マデ其戰費ヲ外國ヨリ借入レズシテ自ラ之ヲ支辨シ將來亦自ラ之ヲ支辨センニハ格別兩國トモ既ニ外債ヲ募集シタルノミナラズ將來亦之ニ依ルベキヲ以テナリ

日本ガ戰爭ヲ開始セルヤ其當時マデ其紛議ノ平和手段ヲ以テ解決セラルベキヲ期シタル露國ヲ駭カシタルノミナラズ又露國ノ同盟國タル佛國及露國ノ友邦タル獨逸ヲモ驚カシタリ、特ニ佛國外務卿ハ平和ヲ維持スペシトノ露國政府ノ證言ニ依リテ佛蘭西銀行及佛國政府ト密接ノ關係アル大銀行ニ對シ屢々平和ノ保證ヲ爲セルヲ以テ佛國市場ノ如キハ永ク樂天觀ノ裡ニアリキ

日露間ノ紛議平和ニ解决セラルベシト信ゼシハ雷ニ巴里銀行社會ニ止マラズ獨逸

政府ハ戰爭破裂ノ數時間前ニ於テ三分利附普漏西公債七千萬ヲ有力ナル。伯林銀行「シンヂケート」ニ賣渡セリ。此取引タル獨逸政府及銀行ニシテ若シ平和持続ノ見込微リセバ成立セザリシモノナリキ。

然レトモ佛國及獨逸兩市場ニシテ開戦ノ矢先マデ平和解決ヲ信ジ其見込ニ依テ進退セルモ亦強チ不明ナリ。シテ之ヲ攻擊スペキニアラズ、何トナレバ兩國市場ハ各其政府ノ忠告ニ從ヒシモノニシテ又其政府ハ其同盟國タリ友邦タル聖彼得堡政府ノ平和證言ヲ盲信シタルモノナレバナリ。

然リ而シテ愈々開戦トナルヤ佛獨兩市場ハ其豫想ニ反シテ二月八日(開戦翌日)ニ於ケル證券下落ニ遭ヒ英米両市場ニ比シ一層甚シキ苦痛ヲ感シタリ、當時英米市場ノ苦痛ヲ感ズルコト少ナカリシハ全ク東京ヨリ報告ヲ得タル爲メ聖彼得堡、巴里及伯林ニ行ハレタル樂天觀ニ陷ラザリシニ依レリ。

國際金融市場ノ關係ハ甚ダ密接ニシテ一ノ金融市場ガ他ノ金融市場ヨリ離隔スルコトハ甚ダ難ク否離隔スルコト能ハザラシムルモノナリ、各金融市場ハ總テ相密着セリ、特ニ倫敦市場ハ巨額ノ外國貨幣ヲ取扱ヒ就中英蘭銀行ハ國際取引ノ一大清算

所タルヲ以テ絶エズ外國ニ於テ發生スル出來事ニ注意シ謹慎鞏固ノ政策ヲ行ヘリ、然ルニ外國ヨリ到着スル報告ハ快報ニアラスシテ悲報ナリキ、獨逸ニ於テハ二個ノ舊地方銀行及多數投機業者ノ支拂ヲ停止スルアリ爲ニ開戦後數日間不穩ノ状態ヲ呈シ一般證券ノ下落ハ伯林主要銀行ノ連合運動ニ依リテ辛フシテ支フルコトヲ得タリ、是等諸銀行ハ證券下落ノ甚シキヲ見テ時ヲ失セズ之ニ關涉シ如何ニ其力ノ鞏固ナルカラ示スニ躊躇セズ而シテ其間又謹慎政策ヲ放棄スルコトナクシテ及フ限りノ援護ヲ與ヘタリ、果セル哉能ク證券ノ下落ヲ喰止ムルコトヲ得甚シク市場ノ不況ヲ傳ヘタルモノアルニ拘ラズ實際ハ左マデニアラザリシコトヲ示シ且ツ諸國ノ株式取引所及銀行社會ニ於テ其契約ヲ履行シタルノミナラズ特ニ獨逸ニ於テハ商業道德ノ感念一般商業社會ニ普及セル爲メ善ク其契約ヲ履行シタリ。

之ト同一ナル感念ハ水道ノ彼岸ニモ存シ巴里取引所ニ於ケル負債亦悉皆嚴正ニ支拂ハレタリ、此負債支拂ハ佛國人民ノ頭上ニ墜チシ損失カ他ノ市場ヨリ一層劇シカリシ丈ヶ佛國民ノ價值ヲ上ケシモノト謂フベシ。

巴里ハ數年前來有數ノ國際證券市場ニシテ佛蘭西銀行ハ九千三百萬磅ノ正貨ヲ有

シ七大銀行ハ一億二千萬磅ノ預金ヲ有シテ金融市場頗ル平穩(佛蘭西銀行ノ利率ハ
千九百三年以來今日ニ至ルマデ三分ノ割引歩合ヲ維持セリ)ナリシヲ以テ恰モ磁石
ノ鐵ヲ引クカ如ク各政府、各都市及本國ニテ借入ニ困難セル會社ヲ引ケリ、而シテ佛
國ハ露國ノ銀行タルト同時ニ又西班牙、葡萄牙、瑞西、羅馬尼亞、伊太利及其他ノ國際證
券ヲ所有セルヲ以テ巴里取引所ハ戰爭開始ノ時ニ方リ他ノ國際證券取引所ニ比シ
甚シキ苦境ニ陷ルベキ運命ヲ有シ縱令開戰ノ初ニ方リテハ證券ノ下落比較的ニ尠
ナシトスルモ爾後久シキ間ニ於テ其暴落ヲ來スペキヤ復タ疑フベカラズ、殊ニ該市
場ニハ佛國投機者ノ勘定ニテ多クノ買物アリシノミナラズ伊太利及西班牙投機者
ノ勘定ニテ又少ナカラザル買物アリキ、且ツ近年國際證券ノ價格ハ漸次騰貴セリト
雖是レ公衆ノ之ニ投資セル結果ニ非ズシテ全ク借金ノ結果ナルガ故ニ一朝政治上
ノ變動アルヤ爲メニ二月八日ノ證券暴落ヲ來シタリ、唯買方ヲシテ賣方ノ攻擊ヲ防
禦スルノ力アラシメンニハ甚シキ暴落ヲ來サマリシナルベシト雖證券ノ背負込甚
シカリシ買方ハ既ニ其地位ノ保持ニ難ンゼシニ愈々政治上ノ風説傳ハリシカバ遂
ニ二月二十日ニ於ケル暴落トナレリ、今試ニ二月十九日及二十日ノ最低價格ヲ示セ

バ左ノ如シ

佛	伊	葡	露	伯	西	土	ク	巴
國	三	分	公	債	太	西	刺	班
利	五	分	公	債	葛	西	西	耳
三	分	公	債	債	西	西	爾	牙
分	公	債	債	債	牙	牙	四	其
公	債	債	債	債	爾	亞	四	公
債	債	債	債	債	三	分	四	債
債	債	債	債	債	分	公	分	債
債	債	債	債	債	公	公	公	債
債	債	債	債	債	債	債	債	債
九五・四〇	九八・八五	五八・二七五	五六・〇〇	七二・九五	七四・二五	八〇・一〇	七七・六〇	一、〇八二・五〇
九四・〇〇	九六・七五	五六・七五	七二・〇〇	七一・七五	七四・五〇	七五・〇〇	七五・〇〇	一、〇三〇・〇〇
二・一〇	二・二七五	二・二七五	二・五〇	二・五〇	五・六五	二・八〇	五・六五	一、〇〇二・五〇
一・四〇	一・四〇	一・四〇	九五	二・五〇	五・六五	二・八〇	五・六五	五・〇〇
額	差							

前表ニ示スガ如ク證券ノ下落非常ナリシカバ各銀行ハ政治上ノ風説タル賣方ノ捏
造流布セル無稽ノ言タルニ過ギザルコトヲ論證セリト雖是レ既ニ強氣說勢力ヲ占
メテ公定相場成リ高値ニテ取引行ハレシ後ナリキ

前表ニ示ス所ニ據レバ露國公債ハ他ノ國際證券ニ比シ其下落少ナシトス、而シテ同

公債ノ下落少ナカリシニハ種々ノ理由アリ、請フ其理由ヲ述ベシ

佛國ニ於テ募集セル露國公債ハ其大部分否其全部ガ一般公衆ノ割受ニ係ルノミナラズ(佛蘭西銀行ニテハ其華客カ露國公債ヲ預託スル場合ニハ無手數料ニテ之ヲ保管セリ、千九百三年十二月二十四日ニ於ケル同銀行預託國際證券五十三億三千八百万法中露國公債ハ其一割七分ヲ占メ七萬九千九百七十五人ノ華客ヨリ預託サレタリ)株式仲買組合ニテハ佛國公衆ノ利益關係深キ國ノ公債ニ對スル賣方ノ攻擊ヲ防遏センカ爲メ組合規約ヲ作リ其規約中露國公債ノ賣却セラル、時ハ常ニ現實ノ受渡ヲ請求スルコトヲ規定セリ、加之露國政府ノ外國委員ハ倫敦柏林及巴里其他ニ於テ露國公債ノ賣物アル時ハ之ヲ買受ケテ現實ノ交付ヲ請求シ以テ其賣方ヲ困シメ之ヲ失望セシムルヲ常トシ現ニ倫敦ニ於テハ十四日間ニ僅ニ二分方ノ下落ヲ示セル時ニ於テスラ現物ノ受渡ヲ請求セリ、且ツ露國公債ハ同國ガ戰爭ニ加ハレルニ拘ラズ從來正シク支拂ヒ來リシ利子ハ今後ニ於テモ亦必ズ之ヲ滯ラスガ如キコトナルベシトノ固キ信用ヲ有シ(千七百七十六年露國ノ初メテ外債ヲ募リシ以來利子支拂ヲ停止セシハ千八百十二年ヨリ千八百十五年ニ至ル佛國トノ交戰中ニ於テ前

後唯一回之アリシノミニテ之トテモ千八百十六年平和決定後直ニ之ヲ支拂ヘリ現ニクリミヤ戰爭中千八百五十四年、千八百五十五年及千八百五十六年ノ豫算ニ一億二千三百萬留、二億六千二百萬留及二億六千七百萬留ノ不足アリシニ拘ラズ露國ハ能ク其負債ヲ支拂ヒ又英國ト交戰中ナリシニ拘ラズ露國公債所有英人ニ向テ其利子ヲ支拂ヒタリ

以上ハ露國公債カ他ノ國際證券ニ比シテ下落少ナカリシ所以ヲ説明スルモノニシテ政府ガ自國公債ノ價格ヲ維持セントシテ干涉スルコトニ就キ非難スルモノナキニアラズト雖巴里、柏林、アムステルダム其他ニ於テ露國公債ヲ所有セル多數ノ人々ハ渠等カ信用シ渠等カ其貯蓄ヲ依託シタル政府ガ或ハ賣人ノ賣出ノ爲メニ或ハ市場ヲ攪亂セントスル人々ノ爲メニ公債ノ價格ヲ不當ニ下落セシメラル、ヲ知リ之ニ對シテ相應ノ手段ヲ講ズルノ事情ヲ諒トスルナルベシ

露國公債ノ下落ハ比較的輕微ナリシト雖千九百二年九月二十五日ノ官報ニ依ルニ、露國ノ外國證券及外國ニ投資セル高ハ二百九十八億五千五百萬法ノ巨額ニ上レリ、從テ佛國ハ證券價格ノ差金ヲ償フ爲メ如何ナル方法ヲ以テ二月末日ノ決算ニ應ス

ヘキカニ就キテハ非常ニ苦慮スル所アリタリ、記憶スペキ二月廿日ノ翌日曜日ニ於テ大藏卿ルビエート株式仲買組合委員ヴェルスィールトノ間ニ會見アリ、此會見ニ於テ大藏卿ハ世間ニ流布セル政治的風説ノ全ク無根ナルヲ述ベ株式仲買組合委員ハ同組合ハ目下ノ事情危険ヲ脱セザルヲ知レリト雖亦之カ爲メニ重大ナル損害ヲ被ムルコト無カルベキ旨ヲ大藏卿ニ答ヘタリ、果セル哉公衆ハ重ナル銀行ノ勸告ニ從ヒテ證券ノ下落ヲ機トシ確實ナル證券ニ其貯蓄ヲ投下スペキ目前ノ好機會ヲ逸スルコトナク能ク巨額ノ證券ヲ買入レタリ、然レドモ巴里取引所ト密接相離ルベカラザル伊太利及西班牙ノ市場ニ至テハ猶其望ヲ未來ニ置カザルヲ得ズ。

若シ伊太利ニシテ最近數年間ニ於テ勤勉節約ノ人民ヲ増加シ銀行及貯蓄銀行ニ於ケル預金十億磅ニ達セルカ如キ進歩ヲ持續シ又伊太利ノ商業ニシテ其人民及外國商業會議所(特ニ倫敦ニ於ケル伊太利商業會議所)ノ非常ナル盡力ニ依リテ世界ノ各部面ニ擴張セラレ又引續キ歲入超過ノ豫算ヲ立テ外國爲替相場亦引續キ順適ニシテ有利ノ地位ニ在ランニハ伊太利公債及產業證券ハ必ズ騰貴スペシ、豈復タ其人民及友邦ノ投資ニ須ツコトアランヤ又豈株式買方ノ力ヲ借ルノ要アランヤ、然ルニ開

戰前ニ方リ日本ハ廉價ニテ巨額ノ生糸ヲ伊太利市場ニ賣込ミミラン、ペルガモー、コモノーヴアラ等ニ於ケル重ナル生糸業者ハ蚕繭ノ不作ヲ見込ミテ巨額ノ生糸ヲ買込メリ、而シテ伊太利工場ノ多數ガ其製造ヲ制限シ勞働時間ヲ短縮スルモ伊太利製糸場ノ生産費ヨリ低價ニテ日本ヨリ生糸ヲ輸入セル者ニ對シテハ競爭スルコトヲ得ベカラズ、從テ製糸場ノ多數ハ支拂ヲ停止シ其累地方銀行及生糸商ト取引アルクレフエルド(獨逸)ノ銀行ニ及ビ是等ノ銀行ヲシテ大損害ヲ被ラシメシノミナラズ其他伊太利公債及ゼノア、羅馬其他ニ於ケル產業株券ノ投機者ハ市場ノ混亂ト爲替ノ逆戻トニ依リテ大ニ苦境ニ陥レリ、或ル時ノ如キハ金ニ對スル打歩二分ニ達シタルコトアリキ、伊太利ニ於テハ千九百四年十二月三十一日マデ不換紙幣法貨トシテ存續スルアリ、然レトモ目下狀態進歩シ且ツ其五分利附公債ハ額面以上ノ價格ヲ保テルヲ以テ猶金ニ對スル打歩ヲ存セズ西班牙ニ於ケル狀態亦大ニ憂フベキモノアリ、同國ニ於テハ政府ガ幣制及銀行制度ヲ改正シテ之ヲ鞏固ナラシムベシトノ豫測ヨリ株式買方ハ取引契約ヲ爲シ而シテ前大藏大臣スイグノール、ヴィラヴェルド亦健全ナル幣制ノ慈福ヲ其國ニ授與セントシ(氏ハ西班牙銀行ノ銀行券流通額ヲ減少シ政府

貸上金ヲ返還シ且ツ金ヲ以テ關稅ヲ納附セシメント計畫セリタルモ其計畫ハ失敗ニ終レルヨリ爾來買方ノ地位ニ立ツモノ大ニ減少セリ、然レトモ其殘留スルモノ猶少ナカラザルベキヲ以テ二月廿日ノ巴里取引所ニ於ケル西班牙公債ノ暴落ハ渠等ヲシテ破産ニ瀕セシムルノ虞ナシトセズ

巴里取引所ハ一方ニ於テ外國ヨリ受取ルベキ相場ノ差金アルト共ニ他ノ一方ニ於テハ三月四日大ナル差金ノ支拂ヲ爲サムルベカラザルアリ其位地決シテ安全ナリト謂フベカラズ、故ニ英國ニ於テハ巴里銀行ガ英國ニ投シタル資金ノ全部ヲ引出ザルマデモ其一部分ハ必ズ之ヲ引出スナラント信シタリ、然ルニ英國ニ於テ大陸ノ事件ヲ論スルヤ從來往々其說ノ適中セザリシガ如ク此度ノ豫測モ又々外レタリキ、何トナレバ巴里取引所ニ於ケル恐慌ハ資金ノ缺乏セル結果ニアラズシテ唯投機ヲ試ミ過ギタル結果ニ外ナラザレバナリ、故ニ佛蘭西銀行ハ英國ニ投資セル資金ヲ引出サムルノミナラズ二月ヨリ三月中旬ニ至ルマデ倫敦ニ於ケル英國手形市中割引歩合ガ巴里ニ於ケル佛國手形市中割引歩合ヨリ遙ニ上ニアリシニ乘ジ巴里諸銀行ハ一方ニ於テ仲買人等ニ其契約ヲ履行スル爲メ必要ナル資金ヲ容易ニ調達スルヲ

得セシメシト共ニ他ノ一方ニ於テ巨額ノ英國手形及英國證券ニ投資シタリ

此援助ト巴里取引所並ニ株式仲買組合ガ常ニ名譽ヲ重ンジテ仲買人ノ多數ガ相場ノ差金ヲ支拂フ力ナキ時ニ於テモ猶能ク之ヲ鼓舞シテ嚴正ニ其契約ヲ履行セシメントセシコト、ハ之ヲ謝セザルベカラズ、巴里取引所ハ依然嚴格ニ決済ヲ爲スノ名聲ト其組織ノ卓越セルコト、ヲ示セリ

或ル時株式仲買組合ハ思惑賣ヲ防止スルノ目的ヲ以テ正貨ヲ以テスル注文ニアラザル限リ外國證券ニ就キ取引ヲ爲スベカラズトノ規約ヲ設ケシガ其後此決議ヲ擴張シテ佛國公債ニマデ之ヲ及ボシタリキ

此決議ハ甚シク私營仲買人ノ反對スル所トナリシガ而モ其決議ヲ見ルニ至リシモノハ二月二十日ニ於テ佛國三分利附公債ノ一時ニ九三・一五ニ下落セルハ主トシテ非公定仲買人中ニ思惑賣ノ地位ニ立チシモノアルニ依レリトノ論據ヨリ來レリ然レトモ貯蓄銀行預金ノ大部分ハ佛國公債ニ投下セラレ居ルコトナレバ政府及株式仲買組合ガ公衆ノ信用攪亂サレ公債ノ暴落スル無カランコトヲ望メルハ何人モ知ル所ニシテ又公定仲買人ト私營仲買人トガ共同一致ノ下ニ勵クニ於テハ巴里ハ

能ク國際證券ノ重ナル市場トシテ其位地ヲ維持スルニ足ルベキナリ
然ルニ幸ニモ此事理了解セラレテ巴里取引所ハ種々重要ナル行動ヲ採リ得ルニ至
リ且ツ曩ノ仲買組合決議モ久シカラスシテ之ヲ廢棄シ三月十四日ヨリ公定仲買人
及非公定仲買人間ノ鍵鎖恢復シテ再ビ公私兩仲買人間ノ關係密接トナリ取引所ヲ
シテ議會ノ認可ヲ經タル種々ノ公債ニ着目シ又伊太利五分利附公債ノ借換並ニ西
班牙ノ銀行及貨幣制度改革ニ關スル金融事項ヲ時ノ至ルニ從ヒ遂行スルコトヲ得
セシメタリ

日露戰爭ガ世界ノ公債市場並ニ金融市場ニ更ニ大ナル影響ヲ及ボスモノトシ又總
テノ業務ニ警戒ヲ要スルモノアリトスルモ該戰爭タルヤ元來極東ニ於ケル黃白間
ノ一戰鬪ニ過キザルヲ以テ之ガ爲メ有ラユル事業ヲ停止スルノ必要ヲ生ゼザルヘ
キノミナラズ目下ノ有様ヲ以テ推スニ該戰爭ハ其地域限局サレ又幸ニ英佛ノ關係
圓滑ニシテ機ヲ見テ各其同盟國ニ平和ノ勸告ヲ爲サントスルモノ、如ク且ツ巴里
ニ於テハ戰爭開始當時ニ比シ事情ノ幾分有望ナルヲ以テ近キ未來ニ各種新公債ノ
募集ヲ見ントセリ

第一ニ巴里市ハ市中各處ニ通ズベキ地下鐵道ヲ完成スル爲メ四月十六日ニ於テ市
債一億七千萬法ノ發行ヲ試ミントシ猶瓦斯事業新營ノ爲メ一億二千萬法及一億法
ノ二大新債ヲ起サントシ此外セース局ニ於テモ公共事業ノ爲メ二億法ヲ募集セン
トスルヲ以テ都合五億九千萬法ノ新債ハ今後ニ於テ發行セラルベク而シテ其發行
ハ必ズ成功スベキナリ、何トナレバ佛國公衆ハ巴里市債ヲ好ムノミナラズ巴里ニ於
ケル金利亦低廉ナレバナリ、佛蘭西銀行ニ於ケル正貨保有高ヲ見ルニ其額頗ル巨額
ナルノミナラズ外國爲替ノ傾向ハ佛國ニ適順ニシテ且ツ主要銀行ノ預金頗ル大ナ
レバ佛蘭西銀行ノ正貨ハ益々增加スペク加フルニ佛國ハ巴拿馬運河賣却報償金ノ
一部ヲ米國ヨリ領收セントスルアリ

初メ巴拿馬運河購買案ノ米國上院ニ提出サル、ヤ佛國ハ其報償金四千萬弗ノ全部
ヲ受取ル權利アリシモ其後哥倫比亞政府ノ巴拿馬運河條約ヲ拒絶スルヤ爾來佛國
人ノ右運河株ヲ米國人ニ賣却セル者少ナカラズ、然レバ猶佛國人ノ權利ニ屬スル者
二千萬弗アリテ右二千萬弗ハ國際負債決算所即チ倫敦ヲ經テ決算サル、コトナル
ベク此ニ一ノ疑問トシテ殘レルハ唯何時ニ於テ米國カ其支拂ヲ爲スヘキヤニアリ

巴拿馬運河ノ賣却ニ關シ二箇ノ訴訟巴里民事法院ニ起サレタリ、一ハ哥倫比亞政府ガ巴拿馬運河會社ニ對シ起訴シタルモノニ係リ其要旨ハ外國政府ニ運河權ヲ賣却スルコトヲ禁止セントスルモノニシテ此事タル同政府ト運河會社トノ間ノ協商條項中ニ規定セル所ナルガ猶同政府ハ同協商中ノ他ノ條項ニ依リテ同政府在外特別委員ノ參會ヲ許スコトヲ運河會社ニ命令センコトヲ請求セリ、又他ノ訴訟ハ最初ニ開鑿權ヲ得其後千八百九十二年ニ至リテ之ヲ延期セルボナバート、ウイスノ起セルモノナリ、而シテ舊運河會社清算委員及株主代表者ハ目下此二訴訟ニ從事セリ、以上ノ訴訟提起セラレタル結果トシテ北米合衆國報償金支拂ハ延期セラレタリ

唯如何ナル場合ニ於テモ該報償金ノ支拂ハ米國金融市場ノ狀態ノ上ニ何等ノ影響ヲモ與フルモノニ非ズ、何トナレバ米國大藏卿ハ既ニ巴拿馬共和國ニ支拂フベキ千萬弗及巴拿馬運河會社ニ支拂フベキ四千萬弗ニ應スル準備ヲ爲セルナルベク從テ之ガ爲メ金融市場ニ攪亂ヲ起スコト無カルベケレバナリ、但シ運河ノ支拂金ハ五千萬弗ニシテ結局大藏省ヨリ支拂ハルベキモノナルヲ以テ之ガ爲メ各國立銀行ノ政府預金ハ引出サル、コト、ナリ各國立銀行ハ政府預金ノ割合ニ應シテ約四千五百

萬弗ヲ大藏省ニ返還スペキ命令ヲ受ケタリ、而モ國庫ノ地位ハ甚ダ鞏固ニシテ千九百四年二月一日ニ於ケル金銀證券千八百八十年ノ大藏省證券ヲ除キ純粹ノ正貨保有高二億八千九百七萬五千四百七十三弗アリ、之ヲ本年一月一日ニ於ケル二億九千六百八十万六千四百二十六弗及千九百三年一月一日ノ三億二百七十萬七千六百五十七弗ニ比スレバ多少減少セリト雖猶十分其地位ノ鞏固ナルコトヲ示セリ

且ツ佛國ニ支拂フベキ四千萬弗ニ關シ北米合衆國ハ既ニ十分ナル「クレヂット」ヲ外國ニ蓄積シ置ケリ、即チ昨秋棉花、小麥其他ノ輸出大ナリシ影響ヲ受ケ紐育ニ於ケル電信爲替歩合四弗八三九五ニ下落セルニ方リ其輸出代金ノ全部ハ之ヲ金ニテ受取ラズ金ニテ受取レルハ其一部分ニ止マリ他ノ大部分ハ英國手形ヲ以テ之ヲ受取リタリ、是レ即チ巴拿馬運河報償金ヲ佛國ニ支拂フ時ノ準備ニ出デシモノニ外ナラズシテ輸出期經過スル時ハ外國爲替ハ米國ニ對シ逆戻トナルベケレバナリ、而シテ電信爲替ニ關スル此見込ハ適中シテ今ヤ其相場四弗八七七〇ニ騰貴セリ、此高值ハ歐洲勘定ニテ紐育及費府ヨリボーナス、エーリーズニ金ヲ輸出シ得ルニ至ラシメタリ

北米合衆國ハ今日マデ棉花及小麥其他ノ輸出品アリシト雖亞爾然丁ノ船舶ハ今ヤ

盛ニ小麦其他ノ農產物ヲ歐洲ニ向テ積出セリ、北米合衆國ハ棉花及小麦取引所其他ノ人工的方法ニ依リテ專斷ヲ行ヒ自己ノ利益ト外國ニ於ケル華客ノ利益ト併セ害セシガ之ニ反シテ亞爾然丁ノ大輸出ハ同國ノ發達ニ關與セル人々ニ滿足ヲ與ヘタリ、亞爾然丁ハ英國資本家ノ大ニ利益關係ヲ有スル國ニシテ其自然ノ富源ハ無盡藏ニシテ長キ歲月ノ間ニハ亞爾然丁ガ北米合衆國ノ懼ルベキ敵手トナルコトハ明白ナリ、試ニ千九百三年ニ於ケル亞爾然丁共和國ノ輸出額ヲ示セバ左ノ如シ

玉蜀黍	小麦	亞麻仁
一、六七二、二三三 二、一六一、六五三	一、六七二、二三三 二、一六一、六五三	五八七、七五〇

次ニ輸出入總額ヲ示セバ左ノ如シ

前年比較增加	一年九〇〇	二年三
		輸入
		一三一、二〇六、六〇〇 一〇三、〇三九、二五六 二八、一六七、三四四

前年比較增加	一年九〇〇	二年三
		輸出
		二三〇、九八四、五二四 一七九、四八六、七二七 四一、四九七、七九七

又過去十年間ニ於ケル輸出入額及其人口割合左ノ如シ

年次	輸入	輸出	人口一人二割スル割合
一一一、一一一一一	八八九九三	九四〇	九六・二
九九九九八八八九九	九九九九六五三	九二・八	九五・〇
〇〇〇〇〇九九九九八七	九八七六五	九一・二	九八・二
三二一〇九八七	九一・二	一〇七・四	一〇七・四
一三一〇一〇三〇	一六八	一一二・一	一一二・一
一一三・九	一三・四	一〇一・六	一〇一・六
一一三・九	一六七・七	一三三・八	一三三・八
一七九・四	一八四・九	一一六・八	一一六・八
二三〇・九	一五四・六	一〇一・二	一〇一・二
	一六七・七	二一七	二一七
	一〇三・〇	二七・〇	二七・〇
	一一三・九	四五・四	四五・四

猶近年ニ於ケル亞爾然丁共和國ノ發達著シキコトハ次ニ示スボーナス、エルリズノ農務省統計局ノ報告ニ依リ之ヲ窺フヲ得ベシ

	千八百九十五年		千九百三年	
	積(ヘタ)	口道(基米突)	積(ヘタ)	口道(基米突)
麥仁(同)	二九五〇五一七〇〇	三、九五四九一	二、〇四九六八三	一四、四六二
玉亞麻	三八七三二四	三六九五三四三	一、三〇七一九六	一八、二九四
蜀黍(同)	一二四四一八二	一、八〇一六四四	一、八〇一六四四	五、〇三二二四八
				二九五〇五一七〇〇

事實ニ徵スルモ亞爾然丁共和國ニ於ケル萬事ハ皆其前途ノ有望ナルヲ示シ同國ハ自國證券ノ買戻ニ努メツ、アリ

年々著大ノ進歩ヲ示セル國ノ貿易ヲ示スト共ニ最年三ヶ年間ニ於ケル世界各國ノ貿易公報ヲ示スハ有益ナリト信スルヲ以テ左ニ之ヲ示サントス

	輸入		輸出(本國品)	
	獨逸	白耳義	獨逸	白耳義
一九〇一年	一九〇二年	一九〇三年	一九〇二年	一九〇三年
二七一〇六二 千過	二八一、五五〇 千過	二九九、一七六 千過	二三一、五七二 千過	二三三、八八九 千過
八五、九四七	九二、二四九	九八、五六六	七〇、四五八	七四、三一五

佛蘭西	一七四、七六八	一七五、七六一	一八五、九五六	一六〇、五一八
伊太利	三三、一九四	三一、九二七	三二、八六六	二七、三八〇
奧匈	六八、七四〇	七一、〇三〇	七三、五三七	五四、九七八
埃及	六八、八六〇	七一、六八一	七七、九九三	七八、五六一
聯合	一五、六四二	一五、二〇〇	一七、一八九	一六、一四〇
日	一八三、四二一	二〇一、九四一	二〇七、三八五	二九九、五九〇
英國	二五、九三七	二七、五〇九	三二、一〇二	二五、五六六
加拿大	五五、一七六	五四、五四七	五四、六六五	二五、五八六
印度	三八、七六二	四二、五八九	四七三、三四九	三八、〇八五
院	四五、一四八	四六二、五七六	四七三、三四九	二八〇、〇二二
國家				

以上世界各國ノ貿易ヲ論スルニ方リ先ツ注意ヲ要スルハ南阿戰爭ノ爲メ千九百二年五月迄世界ノ貿易特ニ英國貿易ノ著シキ打擊ヲ受ケシコト是ナリ、又亞米利加、獨逸及澳匈國等ノ貿易擴張ハ是等諸國ニ於テ「トラスト」「シンヂケート」ヲ組織シテ市場ヲ支配シ且ツ機ニ投シテ物品ノ價格ヲ騰貴セシメントスル其勤勉ト巧妙トニノミ歸スヘカラザルナリ是等「トラスト」「シンヂケート」ハ自己ノ損失ヲ顧ミズ他國ノ生産品ヨリ低廉ナル價格ヲ以テ外國ニ剩餘貨物ヲ賣却セリ、又北米合衆國ノ貿易ヲ論ス

ルニ方リ猶注意スヘキコトハ昨年同國ニ於ケル棉花ノ價格ハ一昨千九百二年ヨリ
騰貴シタルコト是ナリ然レドモ同國棉花輸出額ノ巨額ニ上レルハ昨年一年ニ止マ
ラズ、今試ニ千八百九十六年以後同國ノ棉花輸出額ヲ示セバ左ノ如シ

一八九六	二三三、三七八、六一九	一九〇〇一〇	三一四、一〇三、二三八
一八九七	二一二、五二三、六二〇	一九〇〇一	三〇〇、四一七、八五二
一八九八	二三二、四三七、八六五	一九〇〇三	二九〇、二一三、五〇七
一八九九	一九一、〇九一、九一六		三七八、二六一、〇五五

千九百三年ノ年末三ヶ月間ニ於ケル輸出總額五億五百萬弗中棉花ノ輸出ハ實ニ二
億弗ニ上レルモ米國ノ輸出品ハ世人ノ知悉スル如ク主トシテ麵麪材料、食料品棉花
及鑽物性油等ヨリ成リ是等諸品ノ輸出額ハ總額ノ六割ヲ占ム、是レ米國ノ輸出貿易
ヲ論スルニ方リ須ラク注意スペキコトナリトス、若シ夫レ棉花ノ輸出ニシテ前記ノ
如ク巨額ニ上ラザリセバ千九百三年ノ輸出總額ハ千九百二年ニ比シ甚シク超過ス
ルコトナカリシヤモ亦知ルヘカラズ、而シテ本年一月ニ於ケル輸出ハ一億四千百六
十六萬三千四百八十三弗ナリシガ千九百三年十二月ニ於ケル輸出ハ一億七千四百

八十一萬九千五百六十六弗ニシテ又本年二月ニ於ケル輸出ハ一億千八百八十七萬
八千弗ナリシモ千九百三年二月ニ於テハ一億二千五百五十八萬六千弗ナリキ
米國ハ其卓越セル領事制度、専門教育及商務省ノ新設等ニ依リ其比類ナキ勤勉ヲ以
テ千八百七十九年十二月末日ヨリ千九百三年十二月末日ニ至ル間ニ於テ其外國貿
易總額ヲ九十億十二萬七千六十三弗ヨリ百六十九億五千七百七十萬二千七百九十
四弗ニ増加セシメタリト雖他國ニ於テモ亦決シテ其間遊惰ニ過ギタルニアラザル
ノミナラズ相競フテ世界商業ノ最大部分ヲ獲取センコトニ力メツ、アリシナリ、而
シテ今ヤ生産物増加シ特ニ亞弗利加ニ於テ清國勞働者條例ノ施行セラル、上ハ金
ノ產出増加スベク且ツ極東戰爭ニシテ終了スル上ハ亞弗利加、清國及其他諸大陸ハ
必スヤ活動的國民ノ努力スペキ有望ナル舞臺トナルベキヲ以テ到ル處ニ企業ノ精
神興起スルヲ見ルベキナリ

例ヘバ六月ヨリ築造ニ着手セントセル巴拿馬運河ノ如キ又波斯ト波斯灣近傍諸邦
トヲ聯結セントセルバグダット鐵道ノ如キ孰レモ國際商業ノ爲ニ世界ノ各部ヲ短
縮セシムルモノニシテ之ガ爲メ種々ノ物品ハ新出口ヲ開キ多量ニシテ低廉ナル原

料品ト製造品トヲ交換セシムルノ機會ヲ與フルコト、ナルベシ、而シテ是等ノ新地域ニ於テ鐵道、港灣其他ノ築造ヲ見ルニ至ラバ必ズヤ金融上ノ幫助ヲ仰グニ至ルベキナリ

此他佛國人ハ太西洋ト地中海ト聯結シテボルドーヨリマルセイユニ至ルベキ運河ノ開鑿ヲ企ツルアリ、該運河竣工ノ曉ニハ復タ船舶ノジブランタルヲ回航スルモノカルベク從テ該運河ヲ通過スル輸送貨物ハ五千萬噸ニ上ルベシト推算セラル、加之該運河ハ國際船舶ノ爲メ大ニ極東トノ距離ヲ短縮スベキナリ、然レトモ該運河ノ工費ハ五千六百萬磅ヲ要スルトノコナレバ佛國政府豫算ノ現狀ヨリ見ルニ其開鑿ハ多分延期トナルベシト雖此計畫タル既ニ同國議會ニ提出セラレ又同國各地ノ商業會議所ニ依リテ援助サレマルセイユノ商業會議所ノ如キハ特ニ其開鑿ニ對シ大ニ力ヲ盡ス所アリ、蓋シマルセイユハ嘗テ世界重要港ノ一ナリシモゼノア港ノ競争ニ遭ヒテ大ニ之ニ苦メルノミナラズ今後シムプロンヲ通ズル墜道ノ建設完成シテ伊太利ノ大港タルゼノアノ中歐及北歐ニ近接スル曉ニハ更ニ多大ノ打擊ヲ被ムルベク而シテ該墜道ハ本年中ニハ完成サルベキ筈ニシテ此新通路愈々開通センカ從

來マルセイユ及佛蘭西鐵道ヲ經由セシ貨物ノ大部分ハ轉シテゼノア及伊太利鐵道ヲ經由スルニ至ルベケレバナリ

惟フニ運河開鑿ノ上ハ通商ハ多ク之ニ轉スベク而シテ未來ノ好運ハ蒸氣及電氣ノ力ニ依リテ生産者ト消費者トノ近接ヲ計畫スル國民及金錢ト智識トノ大資本ヲ用ヒテ廉價ニ生産ヲ爲ス者ノ肩上ニ懸レリ

英國ハ濶大ナル外國貿易、植民地貿易及航海ニ依リ又能ク整頓セル貨幣制度及銀行制度ニ依リ今日猶依然トシテ世界大商業國ノ首班ニアリト雖今ヤ商業上ノ霸王タラント欲スル他國ノ競爭日ニ劇烈ナルモノアルヲ以テ英國ハ其優等ノ地位ヲ維持スルコトニ就キ須臾モ懈ルベカラザルナリ、而シテ其地位ヲ維持スルノ方策ハ唯英國ノ商業ヲ擴張シ近年屢々我ニ逆ニシテ爲メニ往々金ノ流出ヲ促ガセル我外國爲替相場ヲシテ永久ニ順適ナラシムルニアリ、輸出ヲ増加シ世界到ル處ヨリ英國ニ流入スル金ヲシテ獨リ英蘭銀行ノ庫中ニ伏藏セシメ(是レ英蘭銀行ヲシテ低キ割引歩合ヲ維持セシムル所以ニシテ割引料ノ下落ハ一國ヲシテ他國トノ競爭ニ堪エシムル主要ナル狀態ノ一ナリ)常ニ金ノ受領ヲ好ミテ爲替歩合ガ正貨ノ輸出ヲ來スペキ

場合ニ於テモ猶金ノ流出ヲ妨ゲントスル他ノ發行銀行ニ赴カシメザルニアリ、商業ヲ增進シ輸出ヲ獎勵シ倫敦及國際金融市場ニ不便ヲ感ゼシメズシテ他國ノ權利ニ屬スル巨萬ノ資金ヲ漸次ニ支拂ヒ得セシムルニアリ、蓋シ外國資本ノ援助ハ英國ノ信用ニ對スル厚情ニシテ之ガ爲メ英國金融市場ハ大ナル便利ヲ得ロンバート、ストリート及全英國社會ハ程善キ割引歩合ノ下ニ働ヲ爲スコト得タリト雖亦一面ニ於テハ外國資本ノ仲介、外國資金ノ漏入ハ外國ニ於ケル資金ノ低廉ナルニ因ルコトヲ忘ルベカラズ、試ニ昨年中各國ニ於ケル公定及市中利率ヲ見ルニ往々英國ヨリ低廉ナル所アリ特ニ佛國ヲ以テ然リトス、即チ次ニ示ス所ノ如シ

三

佛蘭西、澳地利及其他ノ國ニ對スル英國ノ負債ハ常ニ英國銀行社會ノ懸念スル所ナリ、外國ニ對スル負債ハ英國市場ニ取り重大ナル事柄ナリ、況シヤ今日ノ如ク巨額ノ新公債陸續發行セラレ多數ノ都市ガ爭テ借入ヲ爲サント試ムル際ニ於テヲヤ、予ガ昨年二月十八日當集會所ニ於テ朗讀シタルカ如ク外國ニテ割引カレタル手形ノ引受ハ英國ノ義務及英國ニ對スル要求ヲ創定スル者ニシテ金融市場ガ一朝政治的紛擾ノ影響ヲ被ムリ不時ノ出來事ヲ生スル場合ニ於テハ忽ニ清算セラルベキ者ナリ」極東ニ於ケル戰爭カ歐洲品ノ重要ナル消費者タル日露兩國ノ商業的發達ヲ痺瘡セ

ントシ又各市場ハ不測ノ出來事ニ與カルヤモ知ルベカラザントシ事業萎靡シ手形稀少ナル今日ニ於テハ英國ハ暫ク低廉ナル資金ヲ有シ得ベシト思ハル、予ハ金融市場特ニ重ナル金融市場タル倫敦金融市場カ如何ニ神經過敏ナルカヲ指示スルモノニ非ズ、何トナレバ倫敦ハ歐洲ト世界各部トノ間ニ於ケル取引ノ大部分ニ對スル仲介者タリ清算所タレバナリ、巴里ハ歐洲南部ニ於ケル出來事ニ就キテハ速ニ報告ヲ得又柏林ハ露西亞、土耳其、澳匈國、諾威及丁抹ニ起レル出來事ニ就キテハ早ク其ノ報告ニ接スルモ兩亞米利加、亞弗利加、亞細亞、清國及日本ニテ發生セル事件ニ就テハ概シテ倫敦早ク之ヲ知リ濶大ナル關係ヲ有スル英國ノ市場ハ之ガ爲メニ多クノ利益ヲ受ク、然レトモ世界ノ各部ニ於ケル經濟上、貨幣上、財政上及政治上ニ影響スル出来事ハ其如何ナル事タルヲ問ハズ直ニ貨幣及金ノ重要市場タリ又世界ニ於ケル重ナル銀行ノ樞軸タルロンドンバード、ストリートノ地位ニ影響ヲ及ボサマルハナシ、故ニ商業及銀行社會ハ經濟上、財政上、貨幣上及政治上ノ事件ニ影響ヲ及ボス事項ガ如何ナル影響ヲ一般商業ノ上ニ又自己ノ關係セル個々特別ノ事業ノ上ニ及ボスベキカニ就キテ日々ニ考察セリ、一見瑣々タル一小事件ニ過ギザルモノニシテ尙商業ノ上

ニ、國際金融市場ノ狀態ノ上ニ、外國貿易ノ傾向ノ上ニ意外ニ重大ナル影響ヲ及ボスモノ少ナシトセズ、抑、銀行及金融ノ組織ハ一ノ學術ニシテ他ノ學術ニ於ケルガ如ク之ヲ研究シ之ヲ實驗スペキモノタルノミナラズ銀行及金融組織ハ亦世界各國ノ商業ガ如何ナル方向ニ向ヒツ、アルカヲ吾人ニ示スモノナリ、一國ノ歴史中其功績ト其失策トガ各其豫算ニ現ハル、モノトセバ商業ノ歴史ハ銀行報告、割引歩合、其外國爲替ノ變動ニ依リテ之ヲ看出スコトヲ得ベシ、夫レ英國ハ地球ノ各部ニ濶大ナル植民地ヲ有シ其沿岸ニハ無數ノ港灣ヲ控エ商業ノ發達ト工業ノ進歩トニ就キ最モ便利ナル地勢ヲ占メテ其地位ニ卓越シ加之其貨幣制度、銀行組織共ニ鞏固ニシテ其競争者ニ對シテ多クノ利益ヲ有セリ、而シテ吾人ハ發達及發明ノ時代ニ生レ蒸氣及電氣ノ時代ニ生レ商業改革ノ時ニ生レシト共ニ又吾人ハ昔時ヨリモ競爭ノ劇烈ナル時代ニ生レタルモノナリ、昔時ニ於テハ商業ヲ以テ政治的利益中ノ最大ナルモノト思考セシハ獨リ英國アルノミナリシモ今ヤ則チ然ラズ他ノ諸國亦皆此感ヲ懷ケリ、今ヲ距ルコト程遠カラザル前マデハ無數ノ航路ニ依リテ地球ノ各部ト聯絡セル國ハ獨リ英國アルノミナリシガ今日ニ於テハ他ノ諸國亦郵船ノ製造ヲ獎勵シテ世界

ノ各地ヲ航行セシメ其整備、熟練及速力ニ於テ英國船ト對抗スル船舶ニ向テ補助獎勵金ヲ與ヘ居レリ、英國ハ他ニ率先シテ夙ニ清國、印度、南亞米利加其他各地ニ銀行及銀行支店ヲ設置シ世界到ル處其取引店、代理店ヲ有セルモ今日ニ於テハ各國亦皆之ヲ爲セリ、事實ニ徵スルニ英國ノ商業上ノ敵手ハ商業界、船舶界、銀行界ニ於テ皆英國ト競爭セントシ種々ノ計畫ヲ爲セリ、故ニ英國ハ之ニ對シ其前日ノ地位ヲ保持スル爲メ各方面ニ於テ猛烈ナル歩武ヲ取ラサルヲ得ズ、而シテ世界ノ貨幣及金融市場ノ中心トシテ倫敦ヲ重カラシメンニハ英國貿易ノ發達之ニ關スルコト深キヲ以テ更ニ進ンデ如何ナル歩調ヲ以テ其貿易ヲ發達シ擴張セシムヘキカヲ論スルノ必要アリ、蓋シ商業ト銀行トハ其進退ヲ共ニシ鞏固ナル銀行制度ナクシハ貿易ハ到底發達セザルノミナラズ或ハ其成立スラ難カラントス、而シテ倫敦金融市場ノ發達如何ハ懸リテ英國内外貿易ノ進歩如何ニアリ。

他國ニ於テハ軍備擴張ノ爲メ主要財源ヲ涸渴シ直接稅ノ賦課其期限ニ達シテ遂ニ國民ノ食物ニマデ間接稅ヲ課セルアリ、而シテ人工的救濟策ヲ施スニ拘ラス猶外國品ノ輸入ヲ防遏スルコトヲ得ザルナリ、試ニ前記各國最近三ヶ年間貿易表ニ就キテ

之ヲ見ヨ、苛重ナル關稅ヲ課スルニ拘ラズ外國品ノ輸入猶巨額ニ上レルニ非ズヤ、抑關稅ノ重課ハ廻ラスニ重壁高郭ヲ以テスル國ノ產業ヲシテ或ハ暫ラク外國品ノ競爭ヲ防遏セシメ得ベキモ元來國際貿易ナルモノハ生產費ノ減少ニ依リ運賃ノ低減ニ依リ保險料ノ減率ニ依リ又爲替ノ適順ニ依リテ漸次保護主義ヲ採レル國ト競爭シ克ク其功ヲ收ムルコトヲ得ベキモノナリ。

關稅ヲ增加スル當初ニ於テハ人皆其初ヲ知ルモ、復タ其終ヲ知ルナキナリ、今日保護主義論者カ猶把持スル所ノ議論ハ苛重ナル輸入稅ハ以テ外國品ノ輸入ヲ防遏スペシト云フニアルモ其誤マレルヤ遂ニ失敗ニ歸スベキコト歷々トシテ明ナルモノアリ、關稅ノ重加ハ唯一國ノ生活費ヲ增加シ生產費ヲ增加シ其貿易ト工業トヲシテ世界ノ商業及金融場裡ニ他國ト競爭スルコトヲ得ザラシムルニ止マルノミナラズ國際貿易ヲ抑制シテ他國ノ報復ヲ購フニ過ギザルナリ。

獨逸ノ保護主義採用ハ關稅戰爭ヲ惹起セシメシノミナラズ其後露國トノ間ニ理財戰爭ヲ生セシメ其極遂ニ露佛兩國ノ間ニ理財及政治同盟ヲ締約セシメ其影響延テ又佛蘭西、伊太利間ニ理財上ノ爭議ヲ生セシムルニ至レリ、之ヲ要スルニ保護主義ハ

何處ニ於テモ如何ナル時ニ於テモ國家ノ間ニ弊害ヲ及ボスモノナリ、保護主義ハ社會主義ト並進シ鞏固ナラザル理財制度及財政ノ不足ト併行ス、幸ニシテ英國ノ貿易ハ未ダ人工的救濟ヲ煩ハサミルベカラザル程惡シキ狀態ニ陥ラザルナリ、元來保護主義ナルモノハ其國ノ商業政策ニ非スシテ唯其通商ノ一方法タルニ過ギズ
英國ノ競争國タル獨逸ガ保護主義ヲ採用セルニ拘ラズ能ク其貿易ヲ増加シタルモノハ全ク之ヲ其同盟國及其他ノ諸國トノ通商條約特ニ外國語ニ熟達シテ到ル處ニ新市場ヲ開キ其本國ト外國トノ貿易ヲ發達セシメタル其國民ノ盡力ニ歸セザルヲ得ズ又其効果ノ多クハ巡視委員ヲ派遣シテ其報告ヲ五ヶ國ノ國語ニ翻譯セル種々ノ輸出組合ニ歸セザルヲ得ズ、今日各國ノ商業競争ハ單獨ナル會社ノ力ヲ以テシテハ到底十分ナルヲ得ザルコト明瞭トナレリ、是ヲ以テ獨逸ニ於テハ共同一致輸出會社ノ名ヲ以テ本國製產物ノ詳細ナル説明書ヲ出版シ品質、荷造法共ニ華客ノ好ム所ニ從ヒ又其取引ニ用ユル貨幣モ獨逸貨幣ヲ用ヒズシテ華客ノ國ノ貨幣ヲ用ヒ或ハ依頼者ノ氣ニ投ズベキ有ラユル手段ヲ用ヒ或ハ獨逸貨物ノ購買ヲ輕便ニセリ
然レトモ英國ニ於ケル製造業者ニシテ此方法ヲ採用セントセバ敢テ難キニアラズ、

然ルニ忽ニシテ商業ノ繁昌セントヲ望ミ嘗テ之アリシ如ク商業ノ一躍増進センコトヲ冀フニ拘ラズ猶競争者ノ行フ所ニ就キテ十分ナル注意ヲ拂ハズ其敵手ノ行ヘル營業ノ方法ヲ採用セズ反テ欣々トシテ或ル一二政治家ノ發意ニ係ル人工的救濟法ヲ迎ヘントスルハ豈解スペカラザルノ至ニアラズヤ

英國商業ノ擴張ニ就キ障礙ノ一根源タルハ古風ノ度量衡ヲ採用セルコトニシテ早晚メートル制及十進制ニ改メザルベカラザルナリ

爰ニ英國ノ貿易ニ少ナカラザル利益ヲ與フベキ一事アリ、即チ專ラ鞏固ナル理財事務ニ其精力ト其注意トヲ注グ所ノ一組織ヲ倫敦ニ設ケ外國ニ於ケル種々ノ有力ナル組織ト同一ノ業務ヲ採ラシムルコト是ナリ、此組織ハ大資本ヲ有シ利發ニシテ經驗ニ富メル理財家ヲシテ其事務ヲ取扱ハシメキ、現在倫敦株式證銀行ト孰レノ方面ニ於テモ競争ヲ試ムルコトナク手形ノ引受ヲ爲サズ又預金ノ吸集ヲ勉メズ而シテ倫敦株式銀行ガ其性質上爲シ能ハザル理財事務其他ノ取引ニ於テ大舞臺ヲ發見スベキナリ

斯ル組織ヲ創設スルハ目下ノ急務ナリ、倫敦ニ於テハ日々外國債、鐵道及其他金融取

引ノ相談アリテ之ヲ拒絶スルコト亦珍ラシカラザルモ外國ニ於テハ此種ノ業務ニ特別ノ注意ヲ爲ス理財組織アリテ之ヲ引受ケ其理財上ノ帮助ヲ與ヘシ代償トシテ外國ヨリ機關車「レール」船舶其他貨物ノ注文ヲ引受ケ以テ本國工業ノ利益ヲ謀レリ斯ル組織ノ創設ハ啻ニ市場ニ鞏固ナル業務ヲ誘致スルノミナラズ英國ノ貿易ヲ發達セシムルコトニ就キ多大ノ助力ヲ爲シ一面ニハ放恣ナル會社ノ煽動的行動ノ爲メニ苦メル公衆ニ對シテ便益ヲ供スベキナリ

鞏固ナル理財組織ヲ倫敦ニ創立スルノミナラズ更ニ進ミテ活氣アル事業家ノ盡力ニ對シ好果ヲ舉グベキ地方ニ他國ト同ジク英國銀行及英國銀行ノ支店ヲ設置スベシ伯刺西爾ニ於ケル獨逸銀行ハ伯刺西爾ニ於ケル獨逸人ノ利益ヲ代表スルカ爲メ設立サレ「ドイツ、ウベルレー」銀行ハボーナス、エリーズニ設立サレ又「アルバライソ」ニハ智利及獨逸銀行、上海ニハ獨逸亞細亞銀行ノ設立アリ、又千八百九十三年伊太利ニ於テ四十四銀行ノ支拂停止アリシガ其恐慌後間モナク獨逸ホート銀行ハ澳地利及瑞西ノ銀行ト共同シテ伊太利ニ二個ノ銀行ヲ設立セリ、即チミランニ一行（伊太利商業銀行）、ゼーアニ一行（クレヂット、イタリアノ）ヲ立テ、伊太利ノ商業及工業ニ重要

ナル援助ヲ與ヘタリ

倫敦ニモ幾多ノ外國銀行アリ、即チ獨逸銀行三（獨逸銀行、ディスコント、ゲッセルシャフト）及（ヅレスデン銀行）、佛蘭西銀行四（クレディオ子一、コムブト、デスコムト、ヅ、パリー）、「ソシーティゼラル、アル、ファヴォリス、ル、デヴェロブマン、ヅー、コンメルス、エ、ヅ、アンダストリー」及「ソシーティヅ、グレデ、アンダストリー」、露西亞銀行一（露國貿易銀行）、瑞西銀行一（瑞西銀行）、日本銀行一（横濱正金銀行）、澳地利銀行二（英澳銀行及オビー、ランダー、バンク）、西班牙銀行一（西班牙銀行代理店）是ナリ、是等ノ銀行ハ皆英國ト其本國トノ間ノ商業關係ニ資益センガ爲メ働クモノニシテ啻ニ其資本ヲ英國ニ齎ラスノミナラズ國際銀行業務發達ノ本體タル外國銀行業ニ關スル伎倆ト實行トヲ以テ之ニ臨メリ、英國諸銀行ハ何故之ニ倣フテ大陸ニ其支店ヲ設置セザルヤ啻ニ銀行ノミナラズ英國人ノ商業會議所ヲ外國ニ設立セザルベカラズ世界到ル處英國人民ノ植民地アリテ其中ニハ尊敬歎待セラル、商人アリ、而シテ英帝國ノ是等人民ト其本國トヲ聯結セシムル鍾鎖ハ商業的利益ナリトス、然ルニ是等ノ人々ハ何故他國人ノ試ミテ成功セル主義ニ則リ英國商業會議所ヲ其地ニ設立セザルヤ、一例

ヲ舉ゲンニ倫敦ニハ七個ノ外國商業會議所アリ、即チ佛蘭西、伊太利、西班牙、白耳義、和蘭、澳匈國及サルヴァードルノ各商業會議所ニシテ皆各其本國ト英國トノ間ノ關係ヲ密接ナラシメンコトニ力メ是等會議所ノ多クハ或ハ英國ト大陸間ノ鐵道連絡ヲ改良セシメ或ハ國際貿易ニ便益ヲ供スル有益ナル事業ヲ爲シ且ツ英國ト他國トノ間ノ平和關係ヲ定ムル要素トナリ、或ハ商業ノ近狀商業上ノ通信ヲ得ルノ便ヲ有セリ、是等商業會議所ノ受クル質問ハ種々雜多ニシテ或ハ關稅税率又ハ輸入稅ニ關シ或ハ英國及外國ノ商慣習ニ關シ或ハ商業旅行者ニ關スル規定ニ關シ其他種々ノ質問ヲ受ク、要スルニ商業會議所ノ設立ハ日ニ其必要ヲ感ズルモノアリ

加之英國ニ設立サレタル外國商業會議所ハ予カ右ニ示セルヨリ多クノ事業ヲ爲セリ抑、語學ハ國際貿易ノ要具ニシテ商業會議所ハ學生ニ外國語ヲ學ブノ便ヲ與ヘ或ハ良師ヲ供シ或ハ賞與ヲ懸ケ或ハ重要ナル援護ヲ爲シテ語學教授ニ就キ種々ノ便宜ヲ與ヘ居レリ、英國商業會議所ハ既ニ巴里、亞歷山、君士坦丁堡、突尼斯、スマルナ、改羅、香港及上海ニ設立セラレテ各重要ナル事業ヲ爲シ又近來ニ至リテゼノアニモ英國商業會議所ノ設立ヲ見ルニ至リシガ予ハ更ニ猶英國商業ノ分營即チ商業會議所ヲ

其他ノ外國ニ増設センコトヲ切望スルモノナリ、冀クハ諸國ノ各方面ニ於ケル商業上ノ關係ヲ一層密接ニシテ文明平和及正義ノ觀念ヲシテ一層流行セシメ國際貿易ヲシテ一層增加セシメ以テ英蘭銀行ヲシテ國際負債ノ大清算所タラシメ又英國諸銀行ヲシテ一層有望ナル舞臺ヲ發見セシメヨ

倫敦市場ハ過去ニ於テ大功績ヲ致セリ、而シテ未來ニ於テモ猶多クノ功驗ヲ呈スペキナリ、何トナレバ國際貿易ハ愈々進歩シ倫敦市場ヲ介スル清算ハ愈々增加スペケレバナリ、蓋シ倫敦市場ハ世界有數ノ金融市場ニシテ從來他國ノ之ト競爭ヲ試ミントスルヤ常ニ失敗ニ終リ國際負債ノ首タル清算所タル倫敦ヲ倒ス能ハザリシノミナラズ又絕對的ニ金ヲ基礎トスル英國貨幣制度ト十分ニ競爭スルコト能ハザリキ

其場所ノ孰レヲ問ハズ經濟上、財政上或ハ銀行ニ關スル問題ノ發生シ、又其國ノ孰レヲ問ハズ貨幣制度及銀行組織ニ於ケル短處ヲ改良セントスルヤ英國ノ商業上ノ敵手ハ常ニ有ラユル方面ヨリ商業及銀行界ニ於テ英國ト競爭セントセリ

故ニ若シ英國ニシテ世界第一ノ商業國民トシテノ過去ノ地位ヲ將來ニ持續セントシ又國際負債ノ清算所トシテ其地位ヲ維持セント欲セバ英國ハ今日ノ商業政策ト

其鞏固ナル銀行主義トヲ將來ニ保持シ其貿易ヲ各方面ニ擴張セザルベカラズ、而シテ之ニ加フルニ他國ノ行ヘル事項ノ一二ヲ採用スルアランカ倫敦ハ永ク世界ノ大商業市場トシテ自由ノ中心トシテ存續スペク又其貿易ニ依リテ毫モ其祖先ノ活氣、事業ノ適方及忍耐ヲ失ハザルコトヲ示スニ足ルベキナリ

終

